

和紙の里ハブ化基本設計がまとまりました！

村は、新たな生活・交通・観光の拠点となるよう、東秩父村和紙の里に様々な機能を備えた複合施設の整備を進めています。このたび、整備に向けての「和紙の里ハブ化構想基本設計」がまとまりましたので、概要についてご報告いたします。

○和紙の里ハブ化構想とは

村の中心に位置する和紙の里を、日常生活・交通・観光など様々な中心拠点として整備し、村外・県外から人を呼び込み地域産業の発展に寄与することを目的とした事業です。

○発揮される効果

この構想では、以下の項目について効果が発揮されるものと考えています。

①公共交通の維持・確保

和紙の里をバスの連結拠点とすることで、便数の増加や利用頻度が高い時間帯に多くバスを運行させることで利便性の向上が期待されます。平成26年度より東秩父村地域公共交通活性化協議会において、様々な協議や実証運行を通じて最適な交通体系の検討を続け、唯一の公共交通機関である路線バスの維持・確保並びに流入人口増加の実施や誰もが乗りやすい公共交通を目指します。

②観光客誘致

ユネスコ無形文化遺産登録された手漉き和紙に加えて、安戸地区の農産物直売所が和紙の里へ移転しますので両施設が連携しより多くの観光客誘致を推進します。また、今年度も実施した、観光地へのシャトルバスについても和紙の里を発着点としながら次年度以降も継続して検討を重ね、和紙の里へ人が集まる仕組みを構築します。

③住民の生活利便性向上

農産物直売所や村内の商店と連携し、日常生活用品も購入できる施設とすることで、住民の皆さまの買い物に対する利便性の向上が期待されます。

④和紙技術の継承

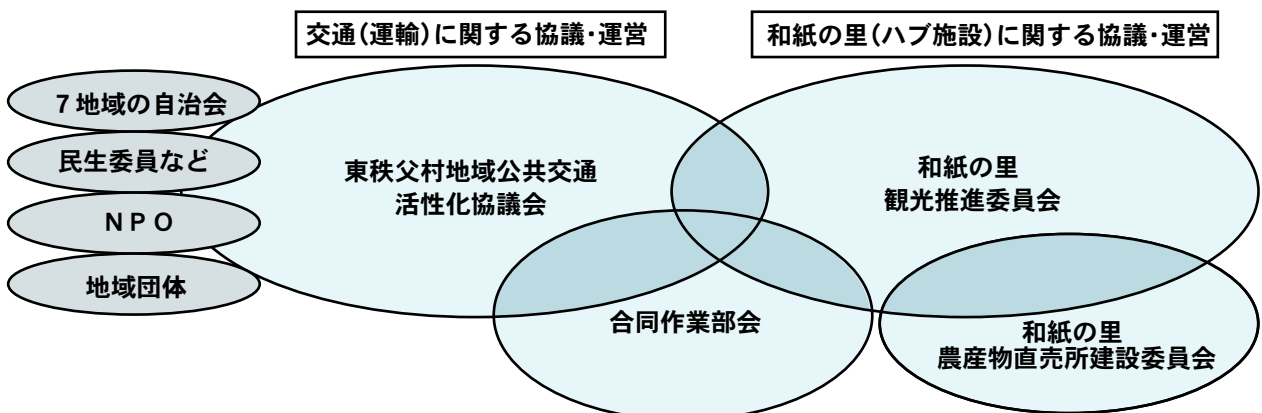
ユネスコ無形文化遺産登録をされた、細川紙の技術を後世に伝えるためにも、細川紙技術者協会と連携し、後継者育成の拠点とします。また、新製品の開発にも積極的に取り組み、和紙情報の発信拠点とします。

⑤定住促進

和紙の里に案内所を設置し、観光案内とともに村内の空き家の情報等を発信する拠点として、転入希望者との窓口となります。

○関係協議会

以下の協議会において、検討を重ねてきました。



協議運営に関する作業・実働

○工事スケジュールについて

当構想は、平成28年10月1日にオープンするものとします。オープンに際して平成28年4月より工事に着工します。工事中はご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

時 期	内 容
平成28年4月	建設に係る入札の実施
平成28年4月中旬～下旬	工事着工
平成28年9月下旬	施設竣工
平成28年10月1日	施設オープンおよびバス運行開始

※今後、詳細が決まりましたら随時お知らせしてまいります。